

潤一町長 施政方針

と堅実な運営、大木町の諸課題の解決に向け、
力で取り組みます。



図書・情報センターオープニング

基本方針

☆ 地域雇用の確保と地域産業の振興を図る

我が国の経済は、失業率が高水準で推移するなど厳しい状況にあり、福岡県においては低迷から脱却できない経済情勢に配慮した、「雇用、景気対策予算」と位置づけられた、対前年度比0・1%増の微増ながらも5年連続のプラス編成となる平成22年度予算案が県議会に上程されているが、本町においても、これらの事業に積極的に取り組む予算を編成し、地域雇用の確保と地域産業の振興を図る。

主要な施策

☆ 基盤整備

空間整備、市街地整備の大きな柱である西鉄八丁牟田駅周辺における、駐車場・駐輪場・駅前広場の整備の進捗を図っていく。

交通体系の整備については、県道久留米柳川線の歩道整備を中心とした道路改良事業に関係機関と連携をとりながら取り組んでいく。

また、花宗川から大莞地区荒牟田四つ角までの区間を県の認可を受けるために、現況測量に着手し取り組む。

☆ 生活環境の整備

自然環境の整備については、土地改良地区内はクリーク防災機能保全対策事業が平成22年度で木佐木地区が終了し、新たに大溝地区の工事が始まる。

国営総合農地防災事業については、大溝線、中木室2号線・昭代1号線の整備を進めていく。

土地改良地区外の水路は、農村振興総合整備事業を活用し整備を図ることとし、平成21年度に測量及び実施設

計が終了し平成22年度より工事に取り組む。

衛生対策の推進については、合併処理浄化槽の全町普及を目指しているが、自己負担の軽減を図り合併処理浄化槽の設置を促進するため、

改築分については、従来の補助金に20万円の上乗せ補助を実施し期間を3年間として、現在の普及率61%を70%になるように取り組んでいく。

循環型社会の形成については、平成22年度は、農産物直売所や地産地消レストランを備えた道の駅がオープンする。おおい循環センター「くるるん」の運営が軌道に乗れば、環境施策の推進をはじめ、農業の活性化や地場産業の活性化等多くの効果が期待できるので、適切な運営に取り組んでいく。

また、5月26日から28日までの三日間、環境自治体会議全国大会を筑後市・大川市との共同開催により実施するが、大木町が目指す持続可能なまちづくりを更に前進させる節目となる大イ

ベントであるので、行政と町民の協働事業として、全職員一丸となって大会の成功に向けて取り組んでいく。

☆ 保健・医療・福祉対策の充実

健康づくりについては、がん検診では受診率の向上を目指し、平成22年度も引き続き、女性特有のがん検診推進事業に取り組む。

児童福祉については、家庭で子育て中の方々の支援として「子育て支援センター」を中心に相談事業をはじめ、多種多様な支援事業を行っていく。平成22年度の重点事業として地域子育て支援拠点事業・障がい児保育事業の充実・学童支援事業の充実を掲げ、これらの施策・事業を積極的に展開していく。

さらに、地域の子育て力を高めるために、子育て支援に関心を持つ団体や個人を巻き込んだ行事やイベント等にも取り組んでいく。

☆ 教育・文化の振興

小学校については、きめ細やかな指導ができるよう、